





# 『月のよひな』 おことわり

本作品は史実を元にしたフィクションです。  
戦後剣道復興期の熱気が伝われば良いな、  
との趣旨で描くものです。

ご存命、どころか現役バリバリの剣道家が  
何人も出て参りますし、  
漫画的表現で描かれたりもしますが、  
他意はありません。  
ご容赦頂けましたら幸いです。

2012年5月 風斗 碧





ねえ  
おかーさん  
あれ何？  
お祭りやってる

お祭り？



あら珍しい  
剣道の  
公開試合だよ

※ 昭和27年1月  
千代田グラウンド

※現・和田倉噴水公園  
の辺り

昭和20年11月6日

「終戦に伴う体錬科教授要綱  
取り扱いに関する件」発体

いわゆる

# 剣道禁止令

である

敗戦下の日本  
「武器を持って  
教える武道」は  
特に厳しく  
禁じられた

それでも  
その善さを信じ  
火を絶やさない  
努力をした人達  
がいたのである





月夜の  
中

第1回

風斗  
碧



おい見たか  
次の  
対戦相手



見たすつごい  
美形だろ  
大義塾の  
中村太郎

大義塾？  
ただの町道場  
なのか



なあに  
剣道禁止令以降  
稽古量では  
この皇道警察  
が一番だ

おう  
その意気だ



大義塾？  
中村太郎？

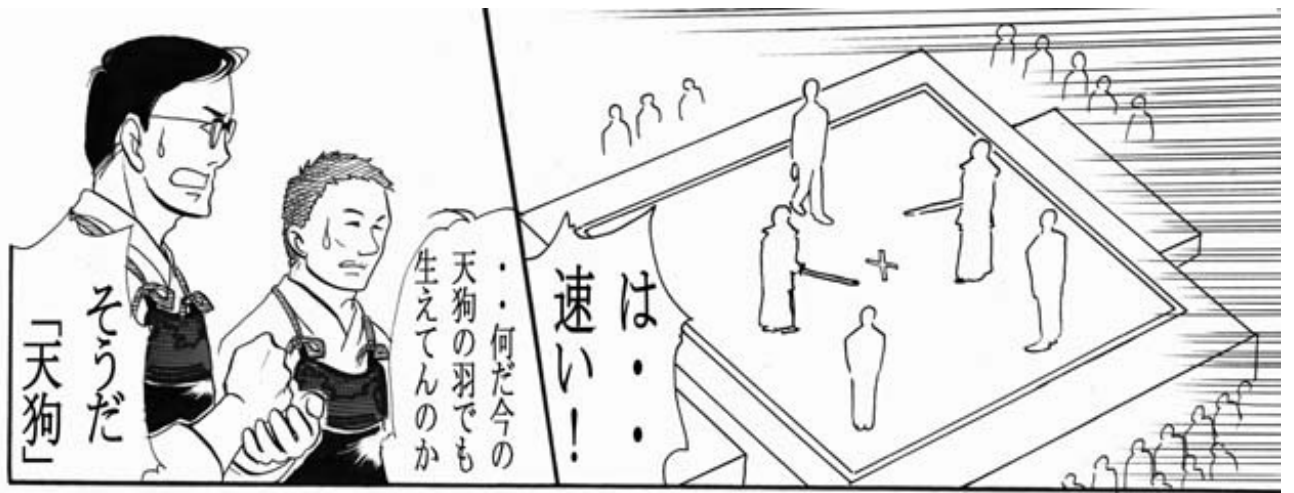
始め





小手あり





「天狗」  
そうだ

・何だ今の  
天狗の羽でも  
生えてんのか

は・  
速い!



なに?

思い出したよ  
大義塾の中村  
「国士館の  
子天狗」だ

国士館・・・?

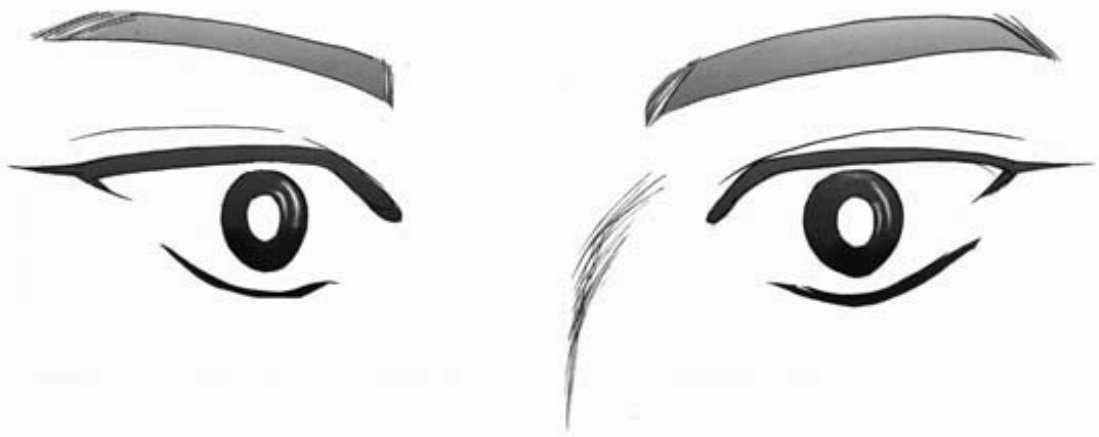
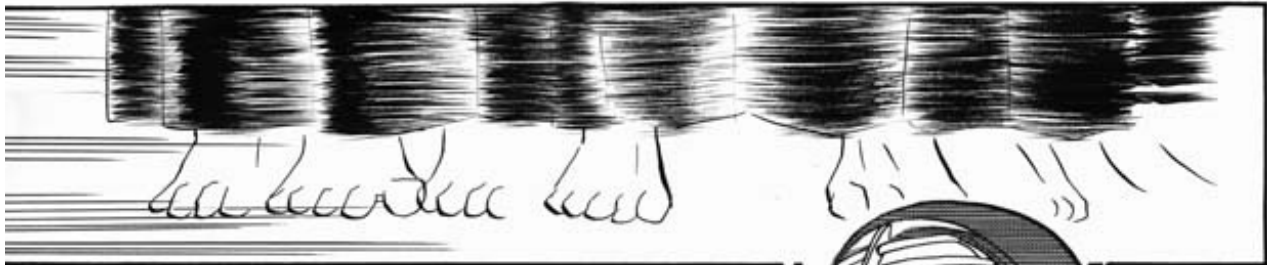


あの齋村五郎と  
小川忠太郎の  
弟子ってことか

中村太郎  
十四歳の時  
初出場した大会で  
12人抜き優勝  
十八歳で  
異例の参段合格  
足捌きが巧みで  
「国士館の子天狗」  
と異名をとる

北米武徳会創設者  
中村藤吉の  
御曹司だよ















宮本武蔵役  
辰巳柳太郎と  
佐々木小次郎役  
島田正吾より  
賞品の贈呈です

おー  
おー  
おー  
おー  
おー



全日本剣道連盟  
初代会長  
木村篤太郎



勿体無いよなあ  
どこかで  
やれないかなあ



昭和28年5月19日

剣道  
解林示



# 『月のような 第1回』 用語解説

剣道禁止令…昭和20年11月6日～昭和27年5月19日

敗戦後、剣道は戦争思想を醸成するとの理由で、GHQから各道場・学校・警察などでも剣道が禁止された。この禁止令や公職追放などによって、多くの剣道家が失職し、道場も閉鎖された。この間、剣道の火を絶やさない為に「携い競技」（武道からスポーツへの転身）というものも一時期存在している。



斎村五郎

明治20年～昭和44年・福岡県出身  
史上5人しかいない剣道最高位である範士十段。  
国士館専門学校、警視庁などで活躍。国士館を「酷死館」とあだ名されるほど厳しい稽古で知られが、戦前・戦後の混乱期に深い人徳を説いた。昭和の剣聖と呼ばれる。



小川忠太郎

明治34年1月～平成4年1月・埼玉県出身  
警視庁名誉師範、野間道場などで活躍。  
剣道の理想の形、「剣禅一致」の体現者として知られる。  
全日本剣道連盟制定「剣道理念」制定委員の一人。  
範士九段



中村藤吉

明治20年8月～昭和46年7月・福岡県出身  
杉並・大儀塾道場初代塾長。  
戦前の満州、人種差別の根強かった時代のハワイ、北米に渡り、海外への剣道普及と剣道を通じての子供たちの生涯教育に努めた。



辻村祥典

昭和3年～ 和歌山県出身  
昭和21年皇宮警察に奉職。  
皇宮警察名誉師範、剣道範士八段。  
『追悼・中村太郎』に「思い出の記」を寄稿。

月のような・1

<http://p.booklog.jp/book/49427>

著者：風斗 碧

著者プロフィール：<http://p.booklog.jp/users/midorikazato/profile>

感想はこちらのコメントへ

<http://p.booklog.jp/book/49427>

ブックログ本棚へ入れる

<http://booklog.jp/item/3/49427>

電子書籍プラットフォーム：ブックログのパー（<http://p.booklog.jp/>）

運営会社：株式会社paperboy&co.